

令和8年度 第1回香南市廃棄物減量等推進審議会【議事録】

- 開催日時：令和8年6月3日(水) 10:00 ～ 12:00
- 開催場所：香南市中心公民館 2 階研修室
- 出席委員：石川委員、伊藤委員、川田委員、谷岡委員、比江森委員、杉山委員、川崎委員
杉村委員、寺田委員、片岡委員、長野委員 計 11 人
- 欠席委員：濱崎委員、佐川委員、桑名委員 計 3 人
- 事務局：(環境対策課) 別役課長、竹中課長補佐

1. 次 第

- ① 開会(別役環境対策課長)
- ② 市長あいさつ(濱田市長)
- ③ 議 事
 1. 廃棄物減量等推進審議会委員の委嘱について
 2. 香南市指定ごみ袋等の料金改定について
 3. その他

◆ 議事1. 廃棄物減量等推進審議会委員の委嘱について

環境対策課長

3人欠席されておりますので、今回は委嘱(任期:令和8年4月1日～令和10年3月31日)のみとします。

内容説明を事務局の方から行い、次回あらためて会長等を選出でよろしいか

出席委員 11 人

賛成

◆ 議事2. 香南市指定ごみ袋等の料金改定について

環境対策課長

スケジュールと検討項目について、令和8年9月の議会に指定ごみ袋の料金改正の議案を提出する予定。

9月議会で承認された後、来年4月1日から可燃ごみ袋と資源ごみ袋を新料金で販売開始と考える。

20年来、消費税の改定以来、料金改定をしておらず、合併当初の23%から16%くらいまで支出に対する収入の充当割合が下がってきている。

平成 18 年度町村合併当初の充当割合くらいまでになるように料金を引き上げるかというところが一つの目安になると思うが、消費者物価指数の動向も上昇率しており、去年3月にごみ袋の入札があり、単価が1枚あたり29.9%ほど急激に上がったことへの対応やごみ袋の種類によっても 1.1 倍から2倍とかなりバラついているので、そこを揃えるのか、また販売店への手数料の変更をするかしないかというところを要素に検討していただきたい。

支出と収入見込みを検討したものが充当割合となるが、可燃ごみ袋は合併当初の 20 数%から落ちてきて、近年は 16%で推移してきており、令和8年度の見込みで 15%台に落ちることが予測される。資源ごみ袋においても同様の見込み。

現在の販売価格は、可燃ごみ袋大で1枚 30 円、中 20 円、小 15 円、業務用ごみ袋が大 62 円、中 41 円、資源ごみ袋大 20 円、中 15 円、小 11 円となっている。今年度も引き続き販売価格は変わらないが、製造コストが約3割アップとなっているので、かなり収支が悪化している状態になる。今回、ごみ袋を1枚あたりいくらにしたら

不足分を補えるかという試算を事務局案として5案提案します。可燃ごみ袋大を軸にして、案1の充当率 25%で可燃大1枚 50 円1巻500円ですと、令和7年度実績と比較して 43,833,400 円プラス。ここまで値上げすると今後 10年 20 年くらい値上げしなくても、一定充当率は見通せる金額というところだ。令和5年度から令和7年度までを比較して、令和8年度は支出がだいたい 2000 万ちょっと大きくなる予定。

委員 1

民間企業も製造原価・製造コストがぐっと上がっている中で、今後も上がっていくだろうし、弊社が市から委託を受けて粗大ごみを回収して中間処理して最終処分までという形をとると、直接各戸に回収にいて持ち込む価格の乖離差が激しくなる。この乖離について、人手がかかって、中間処理をして、最終処分まで持っていないといけないということを説明するが、なかなか受入れ難い。資料としてグラフや図を一つでも入れるべきだと思う。

環境対策課長

説明資料にはそういった点もつけくわえるようにする。

今審議会において、ご意見をお伺いしたうえで、単価をお示して、諮問させていただき、答申をいただく運びです。ご提案がありましたらご意見をいただきたい。

粗大ごみと市内一斉清掃時高齢者世帯等の個別回収の手数料も改正しようと考えおり、令和 5 年度で充当率が 22.5%、令和6年度21%、令和8年度は20%を割り込んでくる想定。

一時受け入れ施設へ持ち込みする場合、乗用車は 1050 円から 1700 円。軽トラでは 2100 円が 3500 円。

一斉清掃時高齢世帯等個別回収軽トラ1車分 1570 円と金額が違いますがこの機会に軽トラ最大積載量 350 kg以下の車両にあわせて 3500 円と考えます。充当率3割程度を目標を考えており、端数調整は、極力、増加率に揃うような金額で提案している。

粗大ごみの支払い方については、本庁券売機と支所で処理手数料券を購入いただく方法ですが、早ければ6月もしくは7月からキャッシュレス決済ができるように手続きを進めている。払い方のサービスとしては幅が広がる。

粗大ごみは、持ち込む手段によって単価を設定しているが、最終処分について、リチウムなどはものすごくコストがかかっているので、値上げにならざるを得ない考える。

また、ごみ袋や処理手数料の値上げだけでなく、減量対策についても対策を図るべきだが、香南市としては、電気式の生ゴミ処理機を補助率 50%で上限3万円、生ゴミ処理バケツ(バケツの中に生ゴミと促進剤を入れて肥料化する)の補助があるが、行政改革のあおりを受けて見直しの方向に向いている。しかし充当率を上げて収入を増やすのであれば、何らかの補助政策も考えなかなければと思う。

可燃ごみ袋と資源ごみ袋の単価を同額にするべきという意見もあるが、資源ごみ袋のほうがコストがかかるので、今ほとんど赤字となっている。昨年度、プラスチックをリサイクルしたことで市に 400 万円収入があった。リサイクルすればするほど入ってくるので、なるだけ可燃ごみ袋と資源ごみ袋の単価は変えていきたい。業務用ごみ袋の単価について、一般家庭用と比べると割高だが、事業所ごみを出されている方々の反響はどうでしょう。

委員

事業所は業務用ごみ袋で排出していますが、それを直接持って行くと、もっと費用がかかる。そこら辺の周知も必要。

委員 2

ごみ袋代単価について端数がでることは、市民は他の物と一緒に買うのでそんなに苦にはならないと思う。

環境対策課長

充当割合 20%目標というのが軸としてあって、製造コストは袋が小さくなればなるほど高くなっていくので、販売量が少ないことも掛け合わせたうえでの判断になっていく。

今年度の試算の中では、店舗で販売いただく際の、ごみ袋取扱い手数料の単価を現状維持する場合と単価上げ率を 10.5%とした場合には、実際の店舗の収入は増えるが、案1にお示したように市の収支としては 380 万円ほど減額になるので、充当率は下がってくるという議論が必要になる。

3 月に実施したアンケートに、ごみ袋の品質向上についてご意見がありましたが、可燃ごみ袋は清掃組合の焼却炉に入れる際に破袋しやすいようにあえて作られているので、ご理解いただきたい。

委員 3

集めたごみを均等にするために一度攪拌するので、破袋しやすい袋となっている。

委員 4

焼却炉の耐用年数は？

委員 3

清掃組合で稼働している焼却炉は9年経過しており、長寿命化をかけて大規模改修をこれから考えていく時期に差し掛かっている。

環境対策課長

今回の料金改定については、基本的にはランニングコストのみへ充当と考えています。焼却炉が 30 年経過したときには、それなりの費用(100 億～160 億)を3市で分割する形になろうかと思う。

委員 4

高知市や安芸市は熔融炉を構えているが、こういったメリットがあるか？

委員 3

耐用年数は確認できていないが、熔融炉は焼却炉よりは多くの種類のごみを投入できるようだ。ただ、ランニングコストは高い。

環境対策課長

10 年前に安芸市へ環境対策課が問い合わせた際は、ビンや傘も投入していたけれど、それはその時点ではやめており、極力分別回収にしているとのことであった。

香南市は乾電池は水銀含有の可能性があるので、委託回収して北海道の最終処分へ持って行くという一番適切な方法をとっているが、去年に県西部の自治体に聞き取りをした際には、乾電池を熔融しているとのことだった。分別しなくてすむのなら熔融炉にしてほしいというご意見が必ずありますが、熔融炉建設に 120 億近くかかり、ランニングコストも高いので、3市には負担が大きすぎるものになる。

委員 5

プラスチック容器包装はすべてリサイクルできているのか？

委員 1

香南市はリサイクルできるものは、すべてリサイクルしようというスタンスで回収している。

環境対策課長

再生プラスチックについても、高知県では行っており、パレットや燃料になっているようだ。

7月以降に流通する家庭用・事業用可燃ごみ袋について、再生燃料を香南市の基準値の中で配合率を5%程度から10%程度にすることで今の白色よりもグレーがかる予定。

委員 4

(ごみ袋等料金改定について)ある一定の案をあげて、値上がりして増収した部分は、あなた(市民)の努力でごみ減量化をはかれば、少しでも値をさげることができるかと認識してほしい。将来的には焼却炉回収費用も含めて段々上がっていくわけだから、今からそういう努力をしましょうと周知していくことが一番大事なことだ。

環境対策課長

そうですね。そもそもゴミの減量化についてこの会があるわけですから

委員 6

自分(市民)たちもごみ減量化について努力をして、意識を高めていくことが大事。

委員 1

業務用ごみ袋を使わないとか、知らなくて一般家庭用ごみ袋で出している事業所もあることから、そこらへんをきちっと整理する必要があると思う。

環境対策課長

去年ですが、商工会へチラシ配布をお願いしたり、市広報等にも掲載しておりますが、なかなか事業者の認識が薄いところは課題として取り組んでいきたい。

それでは、委員の皆様にご意見を、ごみ袋料金改定に関しては案3(充当率 20%)を検討しご提案を作成する。粗大ごみ処理手数料についても案 2.案 3 の充当率 30%とするが、ご異議がないようでしたら、ご提案を作成しまして次会に皆様へ諮問させていただきますので、ご審議いただきたい。

委員 7

資源ごみをごみステーションで回収しているが、市には何か返ってくるものがあるか？

環境対策課長

ごみステーションにだされる紙・布類を回収してもらう上に、毎月、入金いただいている。委託料がかからずに回収できています

委員 6

古紙回収奨励金は今年度でなくなるのか？

環境対策課長

このような財政状況であるので市からの奨励金は一旦廃止とする。充当率が回復すれば、いろんな意味で新しい補助金メニューを考えたい。

委員 4

香南市の財源内容を見ていたら、行政サービスを十分にできる状態ではない。合併して20年が経過し、市民も考えるきっかけとなるのではないか。

環境対策課長

なるべく行政サービスは落とさないようにとは考えているで、ご意見がありましたらお伝えください。

◆ 議事3. その他

次回第2回審議会は、7月中旬開催予定